

1 次の問いに答えなさい。

(1) $18 \div (-6) + (-5)^2$ を計算しなさい。

(2) $\frac{a-1}{2} + \frac{a+7}{4}$ を計算しなさい。

(3) $2a^2 \div ab \times (-5b^2)$ を計算しなさい。

(4) $(x+2)^2 - x(x-3)$ を計算しなさい。

(5) a を 0 でない数とするとき、次のア～オの式のうち、その値の符号が a の符号と同じであるものはどれですか。すべて選び、記号を○で囲みなさい。

ア $-a$ イ $a+2$ ウ a^2 エ a^3 オ $\frac{1}{a}$

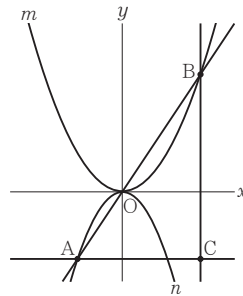
(6) n を自然数とするとき、 $\sqrt{189n}$ の値が自然数となるような最も小さい n の値を求めなさい。

(7) 文芸部の顧問である S 先生は、文芸部員 40 人が冬休みに読んだ本の冊数を調べた。右の表は、部員の人数と読んだ本の冊数の平均値とを学年別にまとめたものである。文芸部員 40 人が読んだ本の冊数の平均値が 3.5 冊であるとき、表中の x の値を求めなさい。

	1 年生	2 年生	3 年生
部員の人数(人)	20	12	8
読んだ本の冊数の平均値(冊)	3.6	4.0	x

(8) A, B 二つのさいころを同時に投げ、A のさいころの出る目の数を a 、B のさいころの出る目の数を b とするとき、 $10a + b$ の値が 8 の倍数である確率はいくらですか。1 から 6 までのどの目が出ることも同様に確からしいものとして答えなさい。

(9) 右図において、 m は関数 $y = ax^2$ (a は正の定数) のグラフを表し、 n は関数 $y = -\frac{3}{8}x^2$ のグラフを表す。A は n 上の点であり、その x 座標は負である。B は、直線 AO と m との交点のうち O と異なる点である。C は、A を通り x 軸に平行な直線と B を通り y 軸に平行な直線との交点である。C の座標は $(7, -6)$ である。 a の値を求めなさい。



2 D さんのクラスでは、**体育祭**の写真と**文化祭**の写真を使ったスライドショーを上映することになった。担任の先生と一緒にスライドショーを作ることになった D さんは、スライドショーの構成を考えてみた。



【スライドショーの構成】

- ・前半を**体育祭**のスライドショーとし、後半を**文化祭**のスライドショーとする。
- ・**体育祭**のスライドショーについては、最初にタイトルを4秒間表示し、その後写真に1枚につき5秒間表示する。
- ・**文化祭**のスライドショーについては、最初にタイトルを4秒間表示し、その後写真に1枚につき8秒間表示する。



「**体育祭**の写真の枚数」が1増えるごとに「**体育祭**のスライドショーの時間」は5秒ずつ長くなるものとし、「**体育祭**の写真の枚数」が1のとき「**体育祭**のスライドショーの時間」は9秒であるとする。

「**文化祭**の写真の枚数」が1増えるごとに「**文化祭**のスライドショーの時間」は8秒ずつ長くなるものとし、「**文化祭**の写真の枚数」が1のとき「**文化祭**のスライドショーの時間」は12秒であるとする。

次の問いに答えなさい。

(1) **体育祭**のスライドショーについて、「**体育祭**の写真の枚数」が x のときの「**体育祭**のスライドショーの時間」を y 秒とする。

① 次の表は、 x と y との関係を示した表の一部である。表中の(ア)、(イ)に当てはまる数をそれぞれ書きなさい。

x	1	2	...	4	...	7	...
y	9	14	...	(ア)	...	(イ)	...

② x を自然数として、 y を x の式で表しなさい。

③ $y = 84$ となるときの x の値を求めなさい。

(2) D さんと担任の先生は、D さんが考えた【スライドショーの構成】のとおり、**体育祭**の写真と**文化祭**の写真合計 50 枚使って 300 秒のスライドショーを作った。

「**体育祭**の写真の枚数」を s とし、「**文化祭**の写真の枚数」を t とする。「**体育祭**の写真の枚数」と「**文化祭**の写真の枚数」との合計が 50 であり、「**体育祭**のスライドショーの時間」と「**文化祭**のスライドショーの時間」との合計が 300 秒であるとき、 s, t の値をそれぞれ求めなさい。途中の式を含めた求め方も書くこと。ただし、 s, t はともに自然数であるとする。

3 図 I, 図 II において, $\triangle ABC$ は $BA = BC = 6 \text{ cm}$ の二等辺三角形であり, 頂角 $\angle ABC$ は鋭角である。円 O は, 辺 BC を直径とする円である。
円周率を π として, 次の問いに答えなさい。

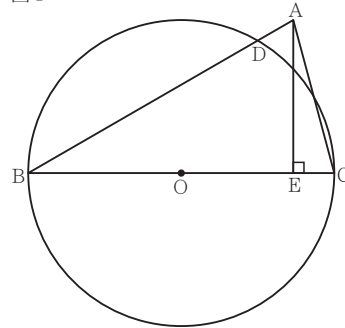
(1) 図 I は, 二等辺三角形 $\triangle ABC$ の頂角 $\angle ABC$ の大きさが 30° であるときの状態を示している。

図 I において, D は辺 AB と円 O との交点のうち B と異なる点である。 E は, A から辺 BC にひいた垂線と辺 BC との交点である。

① 線分 BE の長さを求めなさい。

② 半周より短い弧 \widehat{BD} の長さを求めなさい。

図 I



(2) 図 II において, F は辺 AC と円 O との交点のうち C と異なる点である。 F と B とを結ぶ。 G は, C を通り辺 AB に平行な直線と円 O との交点のうち C と異なる点である。 G と B , G と F とをそれぞれ結ぶ。

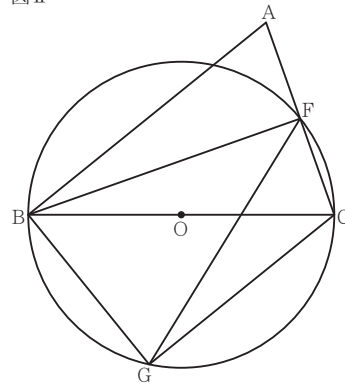
① $\triangle ABC \sim \triangle BFG$ であることを証明しなさい。

② $FC = 2 \text{ cm}$ であるとき,

㊦ 線分 BG の長さを求めなさい。

㊧ $\triangle FGC$ の面積を求めなさい。

図 II



4 図 I, 図 II において, 立体 $A-BCD$ は三角すいであり, $\angle ABC = \angle ABD = 90^\circ$, $AB = 10 \text{ cm}$, $BC = 9 \text{ cm}$, $BD = 7 \text{ cm}$, $CD = 8 \text{ cm}$ である。 E は, 辺 AC 上において A, C と異なる点である。 F は, E を通り辺 CD に平行な直線と辺 AD との交点である。
次の問いに答えなさい。

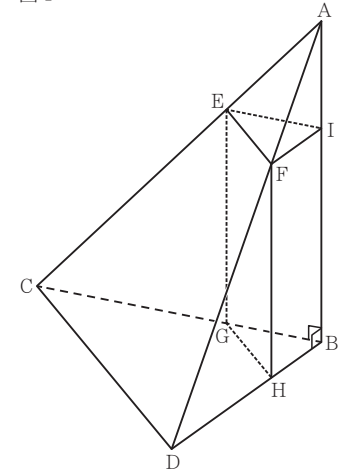
(1) 図 I において, $AE < EC$ である。 G は, E を通り辺 AB に平行な直線と辺 BC との交点である。 H は, F を通り辺 AB に平行な直線と辺 BD との交点である。 G と H とを結ぶ。このとき, 四角形 $EGHF$ は長方形である。 I は, E を通り辺 BC に平行な直線と辺 AB との交点である。 I と F とを結ぶ。 $AI = x \text{ cm}$ とし, $0 < x < 5$ とする。

① 次のア~エのうち, 線分 FI と平行な面はどれですか。一つ選び, 記号を \bigcirc で囲みなさい。

- ア 面 ACB イ 面 ACD
- ウ 面 BCD エ 面 $EGHF$

② 四角形 $EGHF$ の面積が 16 cm^2 であるときの x の値を求めなさい。

図 I



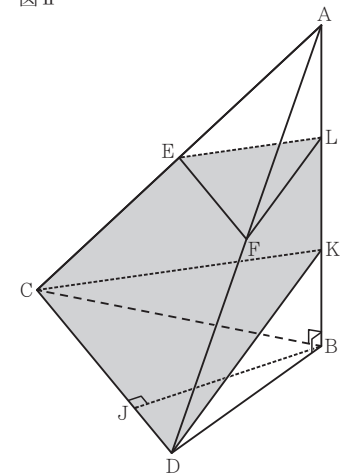
(2) 図 II は, E が辺 AC の中点であるときの状態を示している。

図 II において, J は B から辺 CD にひいた垂線と辺 CD との交点である。 K は辺 AB 上の点であり, $KB = 3 \text{ cm}$ である。 K と C , K と D とをそれぞれ結ぶ。 L は, E を通り線分 CK に平行な直線と辺 AB との交点である。 L と F とを結ぶ。このとき, 立体 $A-EFL$ と立体 $A-CDK$ は相似である。

① 線分 BJ の長さを求めなさい。

② 立体 $EFL-CDK$ の体積を求めなさい。

図 II



○

受験 番号	番
----------	---

得点	
----	--

令和2年度大阪府学力検査問題

数学解答用紙〔B問題〕

		採点者記入欄	
1	(1)	/3	
	(2)	/3	
	(3)	/3	
	(4)	/3	
	(5)	/3	
	(6)	/4	
	(7)	/4	
	(8)	/4	
	(9)	/4	
		/31	

		採点者記入欄	
2	(1)	① (ア)	/3
		(イ)	/3
	②	$y =$	/3
	③		/3
(2)	(求め方)		
		/6	
		/18	

s の値 _____ , t の値 _____

		採点者記入欄		
3	(1)	①	cm	
		②	cm	
	(2)	①	(証明)	
		②	(ア)	cm
		①		cm ²
		/7		
		/5		
		/5		
		/23		

		採点者記入欄	
4	(1)	①	ア イ ウ エ
		②	
	(2)	①	cm
		②	cm ³
		/3	
		/5	
		/5	
		/5	
		/18	